



富士山静岡空港（空撮写真）

富士山静岡空港の目指す姿

1. 静岡「県民のための」空港
2. 「しずおかの空の玄関口」から「日本と東アジアの架け橋」としての空港
3. 「地域振興・賑わい^{にぎ}づくりの拠点」としての空港
4. 官民連携により先導的な経営を行う空港

※平成25年4月に先導的な空港経営検討会議がまとめた「富士山静岡空港の新たな経営体制等に関する答申」より抜粋



富士山静岡空港は「どんな空港を目指すべきか？」
話し合ってみよう！

富士山静岡空港の目標数字

項目	目標値	平成24年度実績
利用者数(人)	850,000	446,755
貨物取扱量(トン)	1,200	584.4
空港周辺2市1町の 観光交流客数(人)	4,900,000	3,750,000

※静岡県総合計画(平成26年度～29年度)より抜粋



- ① 目標値を達成するためにどのような取り組みをしたらいいか話し合ってみよう！
- ② これまでの学習を生かして、富士山静岡空港をPRするポスターを作ってみよう！



Q.首都圏第3空港って何だろう？

A. 今後、ますます拡大する日本の首都圏の航空需要を満たすため、国では、羽田空港や成田空港の機能を強化しようとする構想を持っており、現在は富士山静岡空港や茨城空港など、既存空港も含め議論されています。静岡県は、東海道新幹線空港新駅を設置を視野に、富士山静岡空港の活用を首都圏空港の一角に位置付けるよう国に働きかけています。